

平成29年7月九州北部豪雨により被災された皆様に、心からお見舞いを申し上げますとともに、犠牲になられた方々やご遺族の皆様にお悔やみを申し上げます。

7月10日と15日に朝倉市で災害ボランティア活動を行いました。5年前の北部豪雨災害、昨年の熊本大地震でのボランティア経験を踏まえて、災害ボランティアに行く時に持参するものをご紹介します。

- ①ヘルメットか帽子、結構頭打ちます。 ②メガネ、泥が跳ねて目に入ったら大変です。
- ③防塵対策のマスク、道路の砂埃がかなりあります。
- ④長袖シャツと長ズボン、暑いけど職人さんほどこれを守られています。
- ⑤長靴、中敷にクギ突き抜け防止パット。 ⑥リュックの中にはおにぎり、タオル、
- ⑦ゴム手袋。 ペットボトルなど。

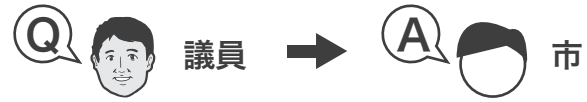
(現地災害ボランティアセンターでスコップやバケツ、一輪車などの備品は貸し出ししています。また、飲み物やタオル、マスク、保護メガネなどもある程度準備されています。)

- ⑧ボランティア保険加入証  
(あらかじめボランティア保険に地元の社会福祉協議会で加入してください。現地での加入は現地スタッフの手間を増やすのでおすすめできません。)



現場での泥かき作業がこれから増えていきます。一人でも多くの方が参加して下さることを願います。今後も活動を継続しながら、ボランティアバスの運行を宗像市に求めていきたいと考えています。

28年12月 定例会 一般質問



一般質問とは？

議員が市の行政事務全般について市の見解を問うものです。

クラウドファンディングの推進

平成26年度12月議会の一般質問でスタートしたクラウドファンディングによる資金調達の手法の提案は、現状具体的に協議や検討が行われているか？そしてこの12項目の資金調達についてはどうか？

- 1.世界遺産登録記念スポーツイベント
- 2.スポーツチームの遠征費などの活動支援
- 3.東海大学付属高等学校の応援 4.人づくりでまちづくり事業補助金
- 5.起業支援・商品開発支援 6.藻場再生を通じた環境保全
- 7.豊かな海づくり大会の機運醸成 8.世界遺産登録記念メダルの発行
- 9.雑誌スポンサー 10.防犯カメラ 11.青少年育成事業
- 12.キャンプ地誘致の対象国のファン増加に関する事業

前回提案していましたクラウドファンディングの導入についての進捗確認を行いました。私も自らクラウドファンディングを行い、議員活動費の資金調達を行いました。

**超提案型スタイル!**



市としてどう対応するかを検討した上で、枠組みを作る必要があると考えている。既にクラウドファンディングを活用した資金調達をした団体もあるので、情報等をしっかりと提供していきたい。その他の提案についても検討を進めていきたいと考えている。

報告 平成29年度からクラウドファンディング事業がスタートしました!

公共施設の利活用について 前向きな回答を得ることができました。

公園の維持費の確保、管理負担の軽減、利用者や市民に一層愛着を感じてもらう策として、公園オーナー、樹木、ベンチ、花壇などの新設費用の負担をして頂く寄附者や草刈りボランティアなどを募ってはどうか？

公園オーナー制度については、多くの皆様に支えられた親しみやすい公園となることと共に、維持管理費の節減など有効な面もありますので、今後、調査研究を行っていききたい。

起業したい、起業しているが、家じゃなかなかできないといった女性起業家のためにメイトム宗像内のスモールオフィスの一画を貸し出して、市は賃貸収入を得ることはできないか？

メイトム宗像の中に男女共同参画推進センター等も入っているので、しっかりとPRしながら進めていききたい。

施設経営について、具体的に、消費者センターの壁や赤間駅の自由通路を広告の枠として、貸し出すことはできないか？

今後、研究に着手していきたいと考えている。

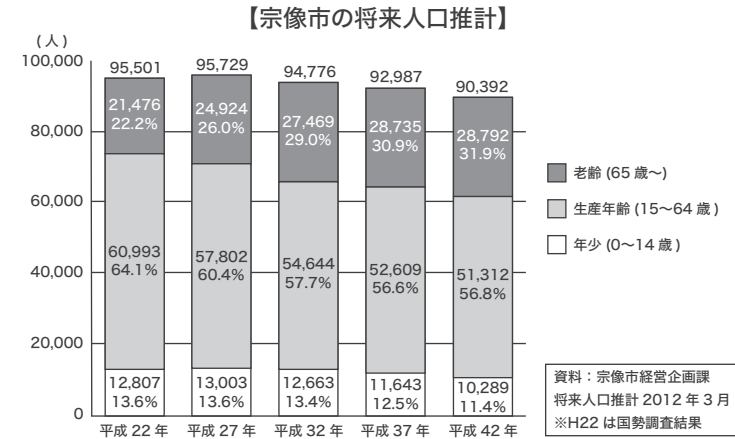
平成29年度3月定例会 一般質問 安部よしひで提案内容

課題① 高齢者問題

宗像市の人口推計は、平成32年3月には人口は**1,500人減少**し、さらにその10年後には**約6,000人減少**する推計結果となっています。

平成20年4月末に65歳以上の高齢人口の割合が**21%**を超え、「超高齢社会」に突入しました。平成26年3月末ではその比率は**25%**を超え、**市民の4人に1人が高齢者**となりました。人口推計では、平成32年3月末には高齢人口の割合が**29%**を超え、高齢人口の割合は上昇し続けることが予測されています。

働く世代の中心15～64歳の生産年齢人口は、平成17年3月末の63,089人(66.8%)から減り続け、平成26年3月末では58,928人となり、**約4,200人の減少**となっています。



課題② 既存インフラの維持更新

1年 36億 30年 1,088億 必要 市債残高 270億

- 対策が必要**
- ・自治会役員の負担軽減
  - ・医療費の抑制
  - ・自然災害時などに少しでも命を守る

それぞれの自治会、町内会が置かれている現状を十分に把握して、それぞれの喫緊の課題が何なのか洗い出す必要があるのでは？また、行事を少し整理することや、誰も触れてこなかった規約の見直し専門のコーディネーター(第三者)によって行う必要があるのではないかと考えています。

市内には143の自治体があり、1000世帯を超えるところから3、40世帯の自治会もある、一番いいのは、その中にそういったコーディネーター機能を持たれた方が出れば良いと思う。コーディネーターについては様々な角度から参考にしながら進めていきたい。

感想 現実から目を逸らさない議論が急がれています!

協会けんぽ、健康保険組合(以下、協会けんぽ等)との連携協定の締結に向けて

協会けんぽ等と連携協定を結び、特定健診などの受診促進や効果的なハイリスクアプローチ(※)の推進及び市内事業所等との健康づくりに関する連携による啓発、ポピュレーションアプローチの推進につなげてはどうか？

国では、医療保険者全体で加入者の生涯を通じた健康づくりを支援する仕組みが構築されていくこととなります。市としてはこうした動きと歩調を合わせて、検診、医療データをもとに、個々の健康課題や地域課題を様々な角度から把握、分析し、その結果をわかりやすく市民に発信するとともに、健康教育や保険指導に反映させつつ、いわゆる健康寿命の延伸のため、個人から地域へと生活改善の取り組みを広げていきたいと考えております。

感想 今後も超高齢化社会の対策の必要性を訴えていきます!

※健康障害を引き起こす危険因子を持つ集団のうち危険度がより高いものに対して、その危険度を下げるように働きかけをして病気を予防する方法

住宅の耐震補助制度の拡充について 前向きな回答を得ることができました。

建物の所有者に対して耐震補助制度の周知を広げるために、市内の建設業者、不動産事業所、金融機関等に啓発ポスターの掲示を、また啓発チラシをそれぞれの事業所の顧客向けDMに同封発送してもらおうよう協力をお願いすることは可能か？

市内の民間事業者等に協力を要請して、可能なものは実施していきたい。

リフォーム工事及び福祉関連の住宅改修にあわせ耐震改修工事を行う場合、補助率を上乗せする施策を講じてはどうか？

リフォームと耐震改修工事をあわせて検討してもらえよう補助率を上乗せすることは耐震化の推進に効果があると考えており、先行自治体の調査研究を行いながら実施したい。



# 平成29年度6月定例会 一般質問 安部よしひで提案内容

## 大型商業施設との連携について

前向きな回答を得ることができました。



健康相談の場としてはどうか？

現時点での予定はないが、人が集まる場所を活用した取り組みは相乗効果が大きいと思うので、今後健康に関するイベント等の機会に合わせた出張相談の実施に向けて検討する。



大型商業施設内への起業支援(チャレンジショップ)の場として活用できないか？

実際にチャレンジショップのような話があれば商工会とも協議しながら大型店と起業者をつないでいきたい。



子育て支援の場として活用できないか？(福岡市の子どもプラザを説明)

大型商業施設には乳幼児連れの方も多く利用されているので、利便性の面では利点があると考えられるが、不審者対策や落ち着いた雰囲気の中で相談やアドバイスが行えるかなどの課題もあるので、子育て支援団体など現場の声も聞いてみたいと考える。



リサイクル活動推進の場として、大型商業施設には回収ボックスが常設されているので買い物客がリサイクル活動を日常的に行なっている。大きく貢献している施設を環境優良企業として表彰できないか？

既存の環境美化の功労者に向けた感謝制度を企業向けにできるかどうか前向きに検討したい。



市街からの誘客のために市内のパン屋さん、スイーツ屋さんが大型商業施設内でフェアを開催したいと提案があった場合市としては支援ができるか？

具体的な話があれば協議や調整は行なっていきたい、前向きに考えていく。



## 公共施設内で生産者移動販売を

前向きな回答を得ることができました。



公園、コミセン、公民館などの公共施設の敷地における行商行為を、市内生産者などが常時行えるように規制の緩和を検討できないか？

既存事業者の規模拡大や新規参入の可能性があれば本来の施設利用目的に支障がない範囲で、庁内各施設と連携して推進に協力していく。



## 公共施設の安定的な維持更新のために

前向きな回答を得ることができました。



最低見積期間から宗像市の休日を守る条例に規定されている休日を除くことができないか？

他市の状況や建設業者に対して意見を聴取して検討させていただく。



紙で行っている図面や内訳書の入札参加者への提供をCDデータにすることで積算期間、事務負担の軽減が行えないか？

電子媒体での提供の検討をしている。今年度中に試行的に取り組む予定。



特殊建材の使用は抑制すべきだが、対策は？

基本的には極力使用しないように努めている、ご指摘の通り引き続き努めてまいります。



平成25年7月に行った入札予定価格の見直しの結果、課題が解決したか？

見直しの結果改善につながっていると考えている。



(平成26、27年度にも入札の全社辞退などが生じていることを説明したうえで)予定価格の見直しと解離性について検討していただきたい。

あまりにも格差があれば見直しはやらないといけない。適正な予定価格というものを目指していく必要性はあると思う。



## ？あの提案はどうなった？

「宗像市スポーツ表彰」の第一号が誕生した記事が新聞に掲載されました！

この表彰制度については市民スポーツの推進と健康増進や子どもたちが夢や希望を持てる機会づくりなどの狙いから、平成25年12月議会でスポーツ推進条例とともに提案させていただいておりました。スポーツ推進条例が平成27年3月に制定され、スポーツ表彰制度は平成28年12月より施行されたので、両方が実現して嬉しく思います。表彰された方々の活躍を通じてスポーツに興味を持つ市民が増え、子どもたちが夢を抱いてチャレンジするきっかけにつながっていくことを心から願っています。

実現に感謝！



## 平成28年9月議会で

世界遺産登録や豊かな海づくり大会に向けて、躍動する宗像を映像として記録しておき未来に伝える考えはないか、記念事業などにおいて市民の心が一つになるような宗像の映画を製作してはどうかと提案していました。その時は映像として未来まで残す事の必要性を認め、先行事例などについて調査研究を行う旨の答弁があったが、その後、提案はどのようにまちづくりに反映されたのか、文書で回答を求めました。

回答：世界遺産登録記念の事業につきましては、先進事例である伊万里市や大川市などの取組みを参考に、市民参加型のテレビドラマを製作するよう準備を進めています。市内をロケ地として撮影を行うもちろん、エキストラを市民に公募するほか、炊き出しや運営ボランティアなど、様々な場面で市民が関わることができる機会を設ける予定です。また、撮影資金をクラウドファンディングで集めてDVDを製作したり、それを活用して地域での上映会を企画したりと、テレビ放映後も様々な形で効果が続くよう取り組む予定です。



**祝！世界遺産登録！！** 多くの方々の長きに渡るご尽力によって1つの結果がもたらされました。心から敬意と感謝をいたします。感動をありがとうございました。

私は登録推進活動に参加してきて、古より先人たちが連綿と繋いでこられた自然への畏敬の念、自然との共生の大切さを宗像地域から世界に向けて発信することは我々宗像人の使命ではないかと考えるようになりました。そして、次の世代に繋いでいくことも、これまで以上に大切なことだと考えるようになりました。ご指導いただいた諸先輩方に感謝いたします。

今回の結果が宗像地域に留まらず福岡県、九州、日本国にとっても明るい一筋の希望の光となりますように。

亡父の望んだ結果となりました。  
早速、神棚に報告。きっとビールを飲んでいると思います。



大切な宗像のために。議員活動報告書

いつも全力！

宗像市議会 建設産業常任委員会 副委員長

あべ よしひで

**安部 芳英**

〒811-4175 宗像市田久6丁目1番

Tel/Fax 0940-32-1386

メール abeyoshihide@gmail.com

ホームページ http://abe-yoshihide.jp/



九州北部地方 豪雨災害

ボランティアに関しまして

？あの提案はどうなった？

「宗像市スポーツ表彰」第一号が新聞掲載！

平成28年9月議会より

世界遺産登録、豊かな海作り大会に向けて

●質問と回答●

**祝！世界遺産登録！！**

①平成28年12月 議会一般質問

クラウドファンディング

公共施設の利活用

②平成29年3月 議会一般質問

高齢者問題

連携協定の締結に向けて

住宅の耐震補助制度の拡充

③平成29年6月 議会一般質問

大型商業施設との連携

公共施設内で生産者移動販売を

公共施設の安定的な維持更新

